



## 《将来に向けた取組方針》

小野薬品は、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、革新的な医薬品の創製に向けて努力を積み重ねています。これら事業活動が環境から恩恵を受けて成り立っていることを認識し、持続可能で豊かな社会を実現のため、気候変動、水、廃棄物等の環境課題の解決に取り組んでいます。生物多様性保全についても重要課題の一つと捉え、生態系に影響を与える環境リスクの低減に努めるとともに、ステークホルダーと協働し、課題解決に向けて取り組みます。

### 〈具体的取組み事例〉

#### ◆生物多様性保全に対する行動指針の策定

全従業員を対象にした生物多様性保全に関する行動指針を定めました。

#### ◆工場排水や新規医薬品開発に対する環境影響評価の実施

主力工場であるフジヤマ工場からの排水が、河川や海に住む水生生物に影響を与えないことを確認するために、生物応答を利用した全排水毒性（Whole Effluent Toxicity）試験を実施しています。また、今後承認申請を目指す新規医薬品について、その有効成分や代謝物の環境への影響を、各国のガイドラインに基づき適切に評価しています。

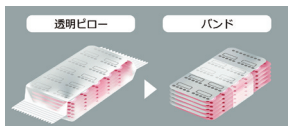


#### ◆化学物質や遺伝子組換え生物・病原体等の環境への拡散・漏洩防止

研究所および工場で使用する化学物質は、関連法令に従い厳しく管理しています。また、遺伝子組換え生物および病原体等についても、関連法令に基づいて定めた社内規定を遵守することによって、環境中への拡散や漏洩を未然に防止しています。

#### ◆資源循環社会の実現に向けた取り組み

環境負荷の低減促進に向けた取り組みとして、4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の推進と製品包装の見直し等によるプラスチック使用量の削減施策を進めています。



### 〈今後の課題等〉

事業の拡大により、生態系への影響が増大する可能性が懸念されることから、環境課題解決に向けた取り組みを加速して進めてまいります。

#### 【主な課題】

- ・気候変動対策
- ・プラスチック使用量の削減
- ・水使用量削減と排水の管理
- ・廃棄物削減
- ・豊かな土壌環境の保全

### 〈社会に向けたメッセージ〉

循環社会形成による環境負荷低減を通して、生物多様性保全を推進します。